

「我が社の魅力発信、PR」

株式会社 大平造園土木 茨城県笠間市

日本古来からの伝統守り
新たな技術を取り入れる
作庭を心がけています

日本庭園の作庭に力を入れて取り組んでいる会社です。
新しい知識や技術・工法を積極的に取り入れ、
その上で伝統的な作庭法を守る作庭をしています。

和風庭園の作庭に
自信あり！！



仕事内容 ”ここが魅力”

自然の物を使い、手を加え、より自然に見せる仕事

「日本の原風景を敷地に取り込む」
これが日本庭園の始まりです。里山の
原風景や幼いころ遊んだ野山など、人
それぞれ思うものは違いますが、安ら
ぎや癒しを与える物、それが庭です。
自然の材料を使い、そこに技術や知
識を加え、人工でありながら自然に見
せる。これが日本庭園の醍醐味です。

近年若い世代にもモダン和風など
と和風が見直されてきております。弊
社では本物をお客様に提供できる様、
知識や技術向上などに、積極的に取り
組んでおります。

社長や社員の集合写真等



我が社の自慢あれこれ”こんなこと！、あんなこと！”

他社に比べ作庭数が多く、
技術を学ぶため、若い職人が全国から多く集まります

日本庭園を作るニーズが少ない為、
施工実績がない会社や、伝統的な技法
や技術を知らない職人が増えてきてい
ます。
しかし弊社では多くの施工実績があ
り、伝統を守って作庭している為、そ
の技術を学びたい若い職人が多く集
まっております。

また知識や技術向上の為、積極的に
講習会の参加、資格の取得を進めてお
ります。イベント等にも積極的に参加
し、メディアにも多数取り上げられ、
日本庭園の魅力発信に尽力しています。
毎年行われる技能五輪にも必ず選手
を輩出し、上位入賞し日本一になった
職人もいます。



本事業に参加して、事業の成果等

「新人技能者人材育成プログラム」に沿っての訓練・育成・教育だったので、教育する側とされる側どちらも内容が良くチェックでき、悪い点・良い点などの把握ができ、よかったですと思います。

現場作業が多い中で、現場での教育でも一呼吸おいて説明する事ができたし、帰ってきてからも現場で話をした事など復習が出来て理解することが早く、10ヶ月の訓練で一皮剥けて大きく成長した様に思えました。

訓練中の写真



今後の課題や取り組み

人口減少が進む中で、すべての職業で人材不足が問題となって行くと思います。その中で、いかに若者を集め、優れた人材となるよう教育・訓練していくかが一番の課題であり、会社存続の鍵になると思います。

その為には、社員が働きやすい体制や環境づくりを常に考え整えていくことが大切であり、社員のモチベーションが上がれば仕事にも良い影響を与え、顧客の満足度も上がり、会社の存続にも繋がると考えています。

人材の育成について

技能者として技術・技能のレベルを高めるために、各種講習会への参加、技能資格の取得など、常に上を見つめての勉強が必要と考えています。

若者の技能五輪全国大会・若年者ものづくり競技大会・技能グランプリ・全国緑化フェアなどへの参加等

会社のあゆみ

昭和48年、大平造園として創業、平成2年(株)大平造園土木 法人化

茨城県笠間市鯉淵6241-42
TEL 0296-77-3021
<http://z-oohira.com/>

社屋の写真

